

リサイクル店で3万円の中古エアコンを購入し、取り付け工事代として別途1万円を支払った。業者が取り付け工事の下見に訪れたところ、追加工事代として更に3万円が必要と言われた。予定していた取り付け工事を先送りにし、自身で業者を探した。リサイクル店には工事をキャンセルしたいと伝えしたが、できないと言われた。

(40歳代男性)

新型コロナウイルスが引き金となって、世界的に半導体が不足し、多くの製品の生産に影響が出ました。家電も例外ではなく、エアコンや洗濯機などの生活家電の品不足や新製品の価格上昇がみられます。

このような中、中古家電の購入を検討する人も増え、商品を実際に手に取って見ることができるリサイクル店への関心が高まっています。

事例のようなエアコンの場合、取り付け工事が必要なため、設置場所によっては、工事代が本体の購入価格を上回ってしまうことがあります。店舗で購入した場合、商品やサービスはクーリング・オフの適用にはならず、事業者との話し合いによる解決が求められます。

なお、中古家電は、故障や不具合のリスクが高くなりますので、しっかりとメンテナンスされているものを選び、年式が新しく状態の良いものを選びましょう。

また、メーカー保証が切れている、もしくは付いていない場合も多いことから、保証や店舗独自の保証がついているものか、保証内容も事前に確認しましょう。

家電の再利用は、経済的、環境的な効果が見込めますが、中古家電のデメリットを十分に理解し、購入する時は、リサイクル店としっかり話し合うことが大切です。

販売店の対応に疑問な点があった場合は、最寄りの消費生活相談窓口にご相談してください。